

2024年4月8日
ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社

V2H「EIBS Va-1 (アイビス・ブイエーワン)」の発表および マルチリンク蓄電システム「EIBS V (アイビス・ブイ)」の出荷開始について

ダイヤゼブラ電機(ダイヤHD 本社：大阪市、社長：小野 有理)は、東京電力ホールディングス株式会社様（以下「東京電力HD様」）が既報の通り、共同研究した V2H^{※1}「EIBS Va-1 (アイビス・ブイエーワン)」を 2024 年夏に発売いたします。また、同じく東京電力HD様との共同研究製品である、マルチリンク蓄電システム「EIBS V (アイビス・ブイ)」は、2024 年 5 月 7 日より出荷を開始いたします。

※東京電力 HD 様リリース https://www.tepco.co.jp/press/release/2024/1667262_8714.html



EIBS Va-1 (アイビス・ブイエーワン)

EIBS V (アイビス・ブイ)

1. V2H「EIBS Va-1 (アイビス・ブイエーワン)」

「EIBS Va-1」は、当社の特許技術である、高効率と小型化を両立する絶縁双方向電力変換技術^{※2} (DAB: Dual Active Bridge) を採用しています。既存 V2H の中でも、薄型軽量、省スペースでの設置を実現しています。

2. マルチリンク蓄電システム「EIBS V (アイビス・ブイ)」

「EIBS V (アイビス・ブイ)」は、太陽光発電（以下「PV」）、EV および蓄電池を同時に制御する多機能パワーコンディショナ^{※3} と、V2H ユニット、蓄電池ユニットを組み合わせたマルチリンク蓄電システムです。蓄電池ユニットには、従来のリチウムイオン電池に比べ長寿命^{※4} かつ低温性能に優れたチタン酸リチウムイオン電池^{※5} を使用しており、東京電力HD様の安全基準をクリアしています。また、PV、V2H、蓄電池を組み合わせた製品としては初めて、「2023 年度省エネ大賞^{※6} - 製品・ビジネスモデル部門」で「資源エネルギー庁長官賞（建築分野）」を受賞しています。

News Release

3. 最新の規格に対応

「EIBS Va-1」、「EIBS V」とともに総務省が推奨する国際規格 CISPR11 第 6.2 版の基準に適合しており、不要電波の発射を抑えています。また、「EIBS V」は低圧蓄電システムの安全要求規格である JIS C 4412 の認証を取得しています。

当社は、これらの商品を通じて、カーボンニュートラル社会の推進、レジリエンスの強化に貢献して参ります。

※1 V2H：

CHAdemo方式を採用した Vehicle to Home (V2H) を指し、EV への充電に加え、EV からご家庭へ電気を供給する機器

※2 絶縁双方向電力変換技術：

直流電圧を所定の電圧から絶縁された別の電圧へ変換し、かつ双方向での電力変換を可能にする技術

※3 多機能パワーコンディショナ：

直流電源として PV・EV・蓄電池を接続し、ご家庭・自動車の両方向へ電気を供給する機器

※4 長寿命：

20,000 回以上の充電・放電に対応（セルの期待寿命からの推計値）

※5 チタン酸リチウムイオン電池：

負極にチタン酸リチウムを採用したリチウムイオン電池

※6 省エネ大賞：

わが国の産業、業務、運輸各部門における優れた省エネの取り組みや、先進的で高効率な省エネ型製品などを表彰する制度

注) 東京電力HD様の「AI 最適制御」サービスについては同社プレスリリースをご参照ください。

https://www.tepco.co.jp/press/release/2024/1667262_8714.html

<別紙資料> V2H「EIBS Va-1 (アイビス・ブイエーワン)」・マルチリンク蓄電システム「EIBS V (アイビス・ブイ)」の概要

今後も当グループは、中長期経営計画【炎のスクラム】に掲げた新ビジョン【車と家を地球環境に資するものづくりでつなぐ】に基づき、公器としてお客様の発展に寄与し社会の豊かさに貢献するべく、挙社一致で連戦猛進して参ります。

■本リリースに関するお問い合わせ先

ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社 社長室 IR・広報部

TEL: 06-6302-8211 E-mail: PR1_INFO@dia-zbr.co.jp

<別紙>

V2H「EIBS Va-1（アイビス・ブイエーワン）」・
マルチリンク蓄電システム「EIBS V（アイビス・ブイ）」の概要

各機器の模式図

1. 「EIBS Va-1」（V2H）



2. 「EIBS V」（マルチリンク蓄電システム）



各機器の特徴

1. 「EIBS Va-1」 (V2H)

- パワーコンディショナ機能を内蔵し、単体で充電・放電と自立運転を実現
- 最大 6kW の倍速充放電を実現し、停電時には EV から自立運転 5.5kVA 相当分の電力を供給可能
- 薄型軽量、省スペースでの設置を実現

2. 「EIBS V」 (マルチリンク蓄電システム)

➤ 多機能パワーコンディショナ

- PV、EV、蓄電池からの入力に対応し、停電時にも継続的に電力供給
- 停電時や異常検知時に、音声でお知らせする「音声モニター」を付属

➤ V2H ユニット

- 最大 6kW の高速充電・放電を実現し、停電時には EV から自立運転 5.5kVA 相当分の電力を供給可能
- 薄型軽量、省スペースでの設置を実現

➤ 蓄電池ユニット

- 高い安全性を有する株式会社東芝製チタン酸リチウムイオン電池を採用
- 従来のリチウムイオン電池に比べ長寿命 (充電・放電 20,000 回以上※)
- 低温性能にも優れており (-20°Cの低温環境でも定格充放電が可能)、防災の観点からも寒冷地など幅広い温度環境下での使用が可能

※ セルの期待寿命からの推計であり、保証値ではありません

各機器の諸元

1. 「EIBS Va-1」 (V2H)

型名：EPJ-S60EV

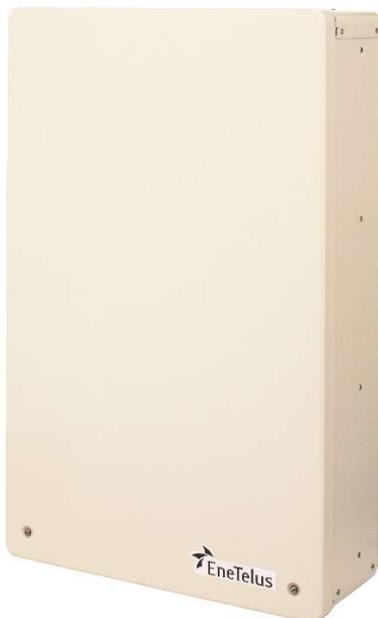


項目	仕様(参考値)
車両側電圧範囲	DC150～450V
充電電力(車両端)	6.0kW 未満
放電電力(車両端)	6.0kW 未満 (停電時には 5.5kW の電力を供給可能)
電気方式(連系)	単相 3 線式 AC202V 50/60Hz
連系運転定格出力 (機器出力端)	5.5kW
自立運転出力 (機器出力端)	5.5kVA
外形寸法	W445 × H1450 × D198mm (D:脚部、配線ボックス含むと 279mm)
本体質量	75kg
ケーブル	7.5m
設置場所	屋内外
使用温度範囲	-20 ～ +45°C (40°C以上は電力抑制有)
冷却方式	自然空冷 (内部 FAN あり)
適合規格	CHAdeMO(充放電規格) V2H DC 版 EVPS-002 : 2018 2.1.1 版
防水防塵保護等級	IP55

2. 「EIBS V」 (マルチリンク蓄電システム)

●多機能パワーコンディショナ

型名：EHJ-S55MP3B



項目	仕様(参考値)
電気方式	単相 3 線式 AC202V 50/60Hz
入力数	太陽電池:3、蓄電池:1、V2H:1
最大入力電流 (太陽電池 1 回路当り)	10.3A
最大入力電力 (太陽電池 1 回路当り)	2150W
連系運転定格出力 (機器出力端)	5.5kW
自立運転出力 (機器出力端)	5.5kVA
外形寸法	W534 × H851 × D198mm
本体質量	36kg
設置場所	屋内外
使用温度範囲	-20 ~ +45°C (周囲温度が高い時は電力抑制有)
防水防塵保護等級	IP55

●蓄電池ユニット

型名：EOJ-LB62-TS



項目	仕様(参考値)
電池種類	チタン酸リチウムイオン蓄電池 (株式会社東芝製)
定格容量	6.21kWh
最大充電電力(DC)	5.5kW
最大放電電力(DC)	5.8kW
サイクル数	20,000 回 ※セルの期待寿命からの推計値であり保証値ではありません
外形寸法	W580 × H1070 × D370mm (D:脚部を含むと 459mm)
本体質量	140kg
設置場所	屋外
使用温度範囲	-20 ~ +45°C
防水防塵保護等級	IP55

News Release

●V2H ユニット
型名：EOJ-D60EV



項目	仕様(参考値)
車両側電圧範囲	DC150～450V
充電電力(車両端)	6.0kW 未満
放電電力(車両端)	6.0kW 未満 (停電時には 5.5kW の電力を供給可能)
外形寸法	W445 × H1450 × D198mm (脚部、突起部、充放電コネクタは除く)
本体質量	63kg
ケーブル	7.5m
設置場所	屋内外
使用温度範囲	-20 ～ +45°C (40°C以上は電力抑制有)
冷却方式	自然空冷 (内部 FAN あり)
適合規格	CHAdeMO(充放電規格) V2H DC 版 EVPS-002 : 2018 2.1.1 版
防水防塵保護等級	IP55